

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : N,N-ジエチルジチオカルバミド酸ナトリウム三水和物

製品番号 (SDS NO) : 33500jis\_J-1

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 純正化学株式会社

住所 : 埼玉県越谷市大間野町1-6

担当部署 : 品質保証部

電話番号 : 048-986-6161

FAX : 048-989-2787

e-mail address : shiyaku-t@junsei.co.jp

### 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 4

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 1

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分: 該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

H302-飲み込むと有害

H400-水生生物に非常に強い毒性

H410-長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

漏出物を回収すること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

化学物質

慣用名又は別名：NaDDTC

成分名:ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム三水和物

含有量 (%):92.0 <

化学式:C<sub>5</sub>H<sub>10</sub>NS<sub>2</sub>Na·3H<sub>2</sub>O

化審法番号:2-1249; 2-1806

CAS No.:20624-25-3 [148-18-5(無水物)]

ECNO:205-710-6(無水物)

注記:これらの値は、製品規格値(原子吸光分析用試薬)ではありません。

### 4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

コップ1-2杯の水を与えて胃内で薄める。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

(吸入もしくは飲み込んだ場合の症状)

咳、咽頭痛、腹痛、嗜眠、吐き気

(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)

発赤、目の充血

### 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

### 環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

湿らせてもよい場合は、粉塵を避けるために湿らせてから掃き入れる

### 二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

危険でなければ漏れを止める。

粉塵の発生を防止する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

#### 安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

#### 接触回避

強酸、強酸化性物質との接触を避けること。

#### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

### 保管

#### 安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

管理濃度データなし

#### 許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

ACGIH 許容濃度データなし

OSHA-PELデータなし

NIOSH-RELデータなし

## ばく露防止

## 設備対策

- 適切な換気のある場所で取扱う。
- 洗眼設備を設ける。
- 手洗い/洗顔設備を設ける。

## 保護具

## 呼吸用保護具

- 呼吸用保護具を着用すること。

## 手の保護具

- 保護手袋を着用する。
- 手袋/個人保護具メーカーに適切な材料の選択について問合せる。

## 眼の保護具

- 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

## 皮膚及び身体の保護具

- 繰返し又は長時間取扱いの場合、耐浸透性の保護衣とブーツを着用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

## 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：結晶

色：白色

臭いデータなし

臭いの閾値データなし

pHデータなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

蒸発速度データなし

融点/凝固点：約94°C

分解温度データなし

自己促進分解温度/SADTデータなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

臨界温度データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度データなし

VOCデータなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

20°Cでの蒸気/空気-混合物の相対密度(空気=1)データなし

密度及び/又は相対密度データなし

動粘度データなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：溶けやすい

溶媒に対する溶解度：エタノールに溶けやすい

n-オクタノール/水分配係数データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

N,N-ジエチルジチオカルバミド酸ナトリウム三水和物,  
純正化学株式会社,33500jis\_J-1,2019/12/16

危険有害反応可能性

加熱すると、分解して有毒なフェームを生じる。  
弱塩基である。

避けるべき条件

混触危険物質との接触。  
裸火、加熱

混触危険物質

強酸、強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、硫黄酸化物、窒素酸化物、ナトリウム酸化物

---

## 11. 有害性情報

### 毒性学的影響に関する情報

#### 急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム)

rat LD50=1500mg/kg (環境省リスク評価第8巻, 2010)

#### 局所効果

皮膚腐食性/刺激性データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

#### 発がん性

(ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム)

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

生殖毒性データなし

誤えん有害性データなし

#### その他情報

無水物(CAS No.148-18-5)のデータを参照。

---

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

#### 水生環境有害性

H400-水生生物に非常に強い毒性

H410-長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性 短期(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム) 甲殻類 (オオミジンコ) LC50=0.91mg/L/48hr (Aquire, 2011)

#### 水溶解度

(ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム) 可溶(ICSC, 2018)

#### 残留性・分解性

(ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム) 急速分解性なし (BIOWIN)

生体蓄積性データなし

土壌中の移動性データなし

オゾン層への有害性データなし

#### その他情報

無水物(CAS No.148-18-5)のデータを参照。

---

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

---

### 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号：3077

正式輸送名：環境有害物質、固体、他に品名が明示されていないもの

分類または区分：9

容器等級：III

指針番号: 171

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号：3077

正式輸送名：環境有害物質、固体、他に品名が明示されていないもの

分類または区分：9

容器等級：III

IATA 航空危険物規則書

国連番号：3077

正式輸送名：環境有害物質、固体、他に品名が明示されていないもの

分類または区分：9

危険性ラベル：Miscellaneous

容器等級：III

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 該当

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

有害性物質 分類9

航空法

その他の有害物件 分類9

---

### 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

環境有害性

MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止

水生環境有害性: 短期(急性) 区分1 該当物質

ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム三水和物

水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質

ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム三水和物

適用法規情報

記載した法規情報は意図的成分に関するものです。非意図的成分やサプライヤから開示を受けていない不純物に関する情報は含まれていません。

## 16. その他の情報

### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN  
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)  
IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)  
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)  
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
JIS Z 7253 : 2019  
JIS Z 7252 : 2019  
2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information  
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" (<https://www.asahi-ghs.com/>)  
NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP) <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>  
事業者向けGHS分類ガイダンス (平成25年度改訂版, 経済産業省)

### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。  
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。  
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度) です。